

薬剤師確保対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	内田恭一
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会] 政策 [県民の健康サポート・システム]			事業 区 分	■ 国庫 □ 県単 □ その他	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度 H26 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		[]							
[事業目的] 県内の薬局・医療施設に勤務する薬剤師を確保と、薬剤師の資質向上を図り、県内の医療水準の向上を図る。											
[事業内容] 〔（一社）福井県薬剤師会に委託〕 (1) 薬剤師の県内就職促進 878千円 ・ 大学訪問（学生に福井県への就職PR） ・ 高校生セミナーの開催 ・ 中高生向けの薬剤師職紹介パンフレットの作成、配布 ・ 中学生向け職業体験実施 (2) 未就業薬剤師の就業促進 449千円 ・ 未就業薬剤師の業務復帰支援（通信講座） ・ 就業支援ウェブページの改修 (3) 薬剤師の資質向上 3,440千円 ・ 新採用の薬剤師や未就業であった薬剤師が就業後に、適切な指導を受けることができるよう、指導薬剤師の資質向上研修を実施。 薬剤師会が主催して資質向上研修を開催し、就職後のスキルアップをバックアップしていく体制は、就職の際の魅力の一つとなる。											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				2,438	2,356	4,767	3,400	3,400	薬剤師資質向上のため、研修モデルの購入と研修実施		
2月現計予算額の推移			2,937	2,438	2,356						
決算額の推移			2,937	2,391							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	薬局、医療施設に従事する薬剤師数 (目標)				(1,140)	(1,155)	(1,170)	(1,185)	薬剤師数は、2年に1回公表		
	実績		1,110	—							
活動指標	訪問大学数 (目標)				(6)	(6)					
	実績		13	10							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	4,767			4,767	0	事業実施方法		(一社) 福井県薬剤師会に委託			
						補助率					

事業評価

事業名	薬剤師確保対策事業	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	内田恭一	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>近年の医療進歩・高齢化を背景に、薬剤師は従来の調剤業務だけでなく、病棟での服薬指導やチーム医療への参画、在宅患者の薬剤指導管理等求められるなど業務が多様化し、需要が高まっているが、県内の病院・薬局では十分な数の薬剤師が確保できない状況にある。</p> <p>そこで、県内の病院・薬局に勤務する薬剤師を確保するため、薬学生に対して県内就職関連情報を発信するとともに、未就業薬剤師の再就業を支援する。また、服用後の患者の状態を適正に把握し、薬の有効性と安全性を評価できる薬剤師を養成し、以って県内の医療水準の向上を図る。</p> <p>県内数（平成26年12月現在）1,453人 人口10万人当たり183.9人（全国平均226.7人）〔うち医療施設・薬局の従事者140.5人（全国45位）〕 医療機関・薬局へのアンケート調査では227.8人の薬剤師不足（平成26年 223.8人不足）</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県民				79万人				
他県の状況	石川県：実施なし 富山県：就職説明会（病院薬剤師会に補助 地域医療介護総合確保基金） 中高生対象にお仕事体験、中高生とその保護者向け説明会 和歌山県：復職支援事業（県薬剤師会補助 地域医療介護総合確保基金） 滋賀県：人材確保事業（新卒者向け）、女性薬剤師の働きやすい環境整備事業（復職支援）（地域医療介護総合確保基金）	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 U・Iターン奨学金返還支援事業 （役割分担） 薬剤師の県内就業促進	市町との連携状況						
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県外の大学薬学部へ訪問、協力要請 ・ 薬剤師就職情報誌に県内就職PR広告を掲載 ・ 薬学生向け県内就職紹介チラシの作成 ・ 中高生向けの薬剤師職紹介パンフレットの作成、配布 ・ 県内在住未就業薬剤師への就業働きかけのチラシ作成 ・ 県内就職情報のホームページ掲載（14病院、27薬局） ・ 通信講座受講補助 3名 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「薬剤師の役割や薬剤師になるためには」を理解してもらうため高校生セミナーを開催する。 ・ 県内に就職しようとする薬学生や薬剤師が、検索や登録がしやすいホームページに改修。 ・ 現在の薬学生が実務実習でフィジカルアセスメントの習得をしているが、そのような研修を受けてこなかった薬局薬剤師に研修を行い資質向上を図る。 			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

かかりつけ薬局機能強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	内田恭一	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン []			事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等		政策 []			<input type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金	経過年数				
		[]			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他	2 年				
[事業目的]												
認知症や寝たきりを予防し、健康で長生きできるよう、薬局薬剤師を活用した健康づくりのための事業を実施し、県民の医療・介護の需要抑制を図る												
[事業内容]												
一般社団法人福井県薬剤師会に一部委託 (1) 健康フェアを開催(2回)し、筋力や血圧、血管年齢などが測定できるコーナーを設け健康チェックする。 理学療法士、管理栄養士らとともに相談や指導を実施する(歩き方や食に関する講習を実施)。 健康フェアのほか地区イベントに出展(6回)し、健康チェックを行う。 ・相談者の近くの薬局をお知らせし、健康相談は地元の薬局で引き続きできるようことを周知する (2) ウォーキングモニター(500人)にウォーキングを実施してもらい、月1~2回の定期的な来局を促す。 薬局では、ウォーキングのデータ蓄積や筋力や血圧などの測定を実施し、健康相談を実施(50薬局にデータ管理ソフト、カードリーダーを配置)。 (坂井地区では高齢者の健康づくり事業とも協働) (3) 残薬解消事業に関するアンケート調査を実施(対象:患者・薬局・医療機関) (4) 事業の評価 年度末に協議会を開催し(医師会、歯科医師会、薬剤師会、理学療法士会、栄養士会)実績報告(1回)												
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					2,388	5,754			28年度は医薬品の適正利用に関する相談窓口の開設や在宅医療支援薬局など予算化したが国不採択により実施せず			
2月現計予算額の推移					0							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	健康サポート薬局届出数 (目標) 実績					(3)			健康サポート薬局を表示する旨の届			
活動指標	お薬相談会開催件数 (目標) 実績					(6)			健康フェア、地区イベント出展件数			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	5,754	5,754			0	事業実施方法	(一社) 福井県薬剤師会に委託					
						補助率						

事業評価

事業名	かかりつけ薬局機能強化事業	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	内田恭一	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>近年、県民の健康に関する関心が高まり、それに応じてメディアやインターネットなどでは健康に関する情報が氾濫している。そうした状況の中で健康食品なども販売し、薬の専門家である薬剤師が常駐する身近な薬局で正しい情報が得られる体制は有用である。薬局で、県民が気軽に健康チェックができ、健康情報を身近に手に入れられる事業を実施し、健康サポート薬局の普及促進し、もって県民の健康長寿、健康増進を図る。</p>								
[受益者] 県民				[想定される受益者数] 79万人				
他県の状況	富山県：5,000千円 富山県薬局・薬剤師健康創造拠点推進事業			前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 薬局・薬剤師を活用した健康拠点推進事業 (実績) セルフメディケーション等の推進（福井県薬剤師会委託） ・一般用医薬品等の適正使用に関する健康相談窓口の設置や普及啓発 ・禁煙のサポートに係る相談・啓発等 ・こころの健康（認知症）に係るサポート体制の整備			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

生活基盤施設耐震化等補助事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	内田恭一	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		<input type="checkbox"/> 政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H40 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
生活に密接に関係する水道施設の耐震化を推進するための施設整備に必要な経費について補助を行い、水道施設の耐震化の取組や老朽化対策の取組を支援します。												
[事業内容]												
<p>○水道施設の耐震化を推進するための施設整備に必要な経費について補助を行い、水道施設の耐震化の取組や老朽化対策の取組を支援する。</p> <p>①補助対象者 福井市、大野市、勝山市、越前市</p> <p>②補助内容 水道施設の耐震化、老朽化対策に関する事業費の一部を助成 福井市（10,800千円）、大野市（37,900千円）、勝山市（34,635千円）、越前市（12,583千円）</p> <p>③補助率 2分の1、10分の4、3分の1、4分の1（県1/2、4/10、1/3、1/4）</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					169,387	95,918	64,083	45,975	水道事業者の要望額に応じて増減する。			
2月現計予算額の推移					112,293							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								水道施設の耐震化、老朽化対策の取組を支援し、給水の安定を図る。 (水道事業者の水道施設の耐震化等に対する補助であるため。)			
活動指標	(目標) 実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井市、大野市、勝山市、越前市					
予算額	95,918	95,918			0	事業実施方法	補助					
						補助率	県1/2、4/10、1/3、1/4					

事業評価

事業名	生活基盤施設耐震化等補助事業	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	内田恭一	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>水道は、災害時でも安定した給水を確保することが求められている重要な社会インフラであり、災害においても機能を維持する必要がある。生活に密接に関係する水道施設の耐震化を推進するための施設整備に必要な経費について補助を行い、水道施設の耐震化の取組や老朽化対策の取組を支援する。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
福井市、大野市、勝山市、越前市				363,262人（福井市、大野市、勝山市、越前市の現在給水人口（H27年度末））				
他県の状況	東海北陸ブロック全ての県で実施している。			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況	水道事業体（福井市、大野市、勝山市、越前市）に対して、生活に密接に関係する水道施設の耐震化を推進するための施設整備に必要な経費について補助を行い、水道施設の耐震化の取組や老朽化対策の取組を支援する。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
福井市 水道管路耐震化等推進事業（老朽管更新事業） 大野市 水道管路耐震化等推進事業（老朽管更新事業） 勝山市 簡易水道再編推進事業（北野津又、北郷、北六呂師、暮見） 越前市 水道管路耐震化等推進事業（老朽管更新事業） 坂井市 緊急時給水拠点確保等事業（緊急時用連絡管） 永平寺町 簡易水道再編推進事業（営農飲用雑用水）		水道事業体の事業内容に応じて変更する。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

水道水源開発施設整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	内田恭一	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H元 年度 経過年数 29 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
ダムに水源を求める水道事業体に対し、ダム建設負担金の一部を助成し、水道事業体の負担軽減を行い、経営の健全化と長期的な給水の安定を図ります。												
[事業内容]												
<p>○ダム建設負担金の一部を助成し、水道事業体の負担軽減を行う。</p> <p>①補助対象者 小浜市、若狭町</p> <p>②補助内容 河内川ダム建設負担金の一部を助成 小浜市（69,479千円） 若狭町（13,854千円）</p> <p>③補助率 3分の1（国1/2、県1/3）</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		46,932	56,665	66,879	74,426	83,333	68,239	153,414	河内川ダムの建設に係る事業費に応じて増減する。			
2月現計予算額の推移		46,932	56,665	66,879	78,400							
決算額の推移		46,932	56,665	66,879								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								水道事業体の経営の健全化と長期的な給水の安定を図る。 (河内川ダムの建設に伴う負担金(ダム事業費の8%)に対する補助であるため。)			
活動指標	(目標) 実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	小浜市、若狭町					
予算額	83,333				83,333	事業実施方法	補助					
						補助率	国1/2、県1/3					

事業評価

事業名	水道水源開発施設整備事業	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	内田恭一	
[事業の必要性・要求の背景]								
ダムに水源を求める水道事業体に対し、ダム建設負担金の一部を助成し、水道事業体の負担軽減を行い、経営の健全化と長期的な給水の安定を図る。								
[受益者] 小浜市、若狭町				[想定される受益者数] 31,964人（小浜市、若狭町の現在給水人口（H27年度末））				
他県の状況	東海北陸ブロックにおいては、同様の事例なし。			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況	水道事業体（小浜市、若狭町）に対してダム建設負担金の一部を助成することにより負担軽減を行う。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
河内川ダムの建設工事費の一部を補助し、水道事業体の負担軽減を行った。 河内川ダム建設工事の内容 ダム本体工事、付替道路工事、環境調査 他		河内川ダム建設工事の内容 ダム本体工事、付替道路工事、環境調査 他			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

浄化槽設置整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	内田 恭一	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		□ 政推枠 ビジョン []	政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	S63 年度 経過年数 30 年	事業終了 予定年度	H32 年度
関連する県の計画等		[]	[]									
<p>[事業目的]</p> <p>平成22年度策定の福井県污水处理施設整備構想において、污水处理人口普及率98.9%を長期目標としており（平成27年度末94.2%）、浄化槽整備区域内の未普及地域において、浄化槽の計画的な整備を図る必要がある。 また、し尿と生活排水を併せて処理する浄化槽を整備することにより、公共用水域の水質汚濁を防止し、県民の快適な生活環境の保全および公衆衛生の向上に寄与する。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>・市町が行う合併処理浄化槽設置整備事業（浄化槽設置者に対する設置費用の助成）に補助する。</p> <p>事業主体 市町（一部事務組合を含む。） 補助率 補助基準額と市町が補助した額を比較していずれか少ない額の1/3 対象浄化槽 浄化槽および20人以下かつ高度処理型の変則浄化槽（ただし、国の交付金を受けたものに限る。） 補助基数 373 基 補助金の交付 浄化槽の設置に要する経費のうち社会的便益に相当する分（4割）に対して補助する。</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		60,666	56,887	53,236	45,830	43,300	54,147	54,147	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に伴う設備改善意欲の低下。 ・H25→消費税増税前の駆け込みによる設置基数の増加。 ・H26→消費税増税の反動による設置基数の減少。 ・H27→新築物件等の減少。 			
2月現計予算額の推移		57,596	53,259	41,653	44,467							
決算額の推移		53,887	44,248	36,388								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	汚水人口普及率	(目標)							毎年、市町からの要望を受けて補助設置基数を積算している。			
		実績		93.5%	94.2%							
活動指標	補助合併浄化槽基数	(目標)	(439)	(486)	(460)	(392)	(373)					
		実績	384	296	254							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	市町（一部事務組合）					
予算額	43,300				43,300	事業実施方法	補助					
						補助率	市町1/3 県1/3 国1/3					

事業評価

事業名	浄化槽設置整備事業	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	内田 恭一
[事業の必要性・要求の背景] 下水道計画区域外等の地域において、効率的かつ投資効果の発現が早い生活排水処理施設として、合併処理浄化槽の整備が必要である。また水質保全の面からも汚水処理のみの単独処理浄化槽から生活排水も処理できる合併処理浄化槽への転換が必要不可欠であることから、今後も事業を継続していく。							
[受益者] ・浄化槽整備区域内の未普及地域に住む県民				[想定される受益者数] ・2230人			
他県の状況	石川県→未実施 富山県→実施 愛知県→実施 三重県→実施 静岡県→実施	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	市町も県と合わせて1/3補助する。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
補助浄化槽基数 (H27当初) 460基 (H27実績) 254基		過去実績からの執行率を考慮		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 2,530
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

動物管理指導センター（仮称）整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	内田恭一
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区 分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 H29 年度
関連する県の計画等			政策 [「安全・安心ふくい」確立プラン]				■ 県単	□ 補助金			
[事業目的]											
<p>動物愛護管理法および国の基本指針の改正により、動物の殺処分の更なる削減、災害時の対応等が自治体に求められている。福井県動物愛護管理推進計画の実効性を高めてこれらの課題に対応するため、平成26年度に研究会を設け、動物の適正飼養等の推進施策・本県にふさわしい動物愛護センターのあり方について調査研究を行った。</p> <p>これらを「動物管理指導センター（仮称）」（以下、「センター」という。）の整備により具体化し、ソフトとハード両面から飼い主の適正飼養や動物の返還・譲渡等を推進し、「人と動物が健康で明るく共生する幸福で暮らしやすい福井」の実現を図る。</p>											
[事業内容]											
<p>平成28年度に実施した設計に基づき施設建築工事等を実施し、平成30年度に供用開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物管理指導センター（仮称）建築工事 ・支所整備（二州健康福祉センター改修工事） 											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				2,441	14,591	183,629			<ul style="list-style-type: none"> ・27年度は整備基本計画の策定を行う。 ・28年度は当該計画に基づき、土地調査・造成設計、施設設計を行う。 (9月補正により土地購入、造成・接道・水道工事を前倒して実施。) ・29年度は建築・備品整備、改修工事（支所整備）を行う。 (30年度開設予定) 		
2月現計予算額の推移				2,333	69,898						
決算額の推移				2,295							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	①苦情件数 ②殺処分頭数	(目標)		(①483) (②459)	(①466) (②451)	(①449) (②443)	(①432) (②435)				
		実績		①489 ②222							
活動指標		(目標)							施設整備に係る設計工事であるため設定しない		
		実績									
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	183,629	45,108			138,521	事業実施方法	調査・設計委託				
						補助率					

事業評価

事業名	動物管理指導センター（仮称）整備事業	部局名	健康福祉部	課名	医薬食品・衛生課	課長名	内田恭一
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>本県では、各健康福祉センターを中心として、動物の愛護管理業務を進めており、これまでに収容動物の返還や譲渡等の動物の管理に係る施策に一定の成果が認められる。一方で各健康福祉センターにある収容施設は、もともと狂犬病予防法に基づく抑留施設として設置されたものであり、収容した動物をより長期に飼養する等によりその譲渡を一層推進するには、その規模や構造に大きな問題を抱えている。また、しつけ方教室等の飼い主に対する実技教育や愛護思想の普及や情操教育に資する動物とのふれあい教室等の動物の適正飼養や愛護に関する施策を十分に実施できる施設とはなっていない。</p> <p>今後、動物の殺処分の方の更なる削減、災害時の対応等、本県の動物愛護管理行政をより一層推進するためには、拠点となる施設を整備し、飼い主の適正飼養推進をはじめとする施策を幅広く展開する必要がある。</p>							
[受益者] 動物の飼い主、動物の飼養希望者、児童生徒等を中心にした県民全般				[想定される受益者数] 約3万4千人			
<p>県内にいわゆる動物愛護センターがないのは、本県を含め3県（岩手、香川、本県）のみである。</p> <p>【岩手の状況】 ・震災復興が優先。整備の検討はしていない。 （一般財団法人が26年春に滝沢市に世界最大級の動物保護施設「ペットの里」を開設し独自の取組みを始めている。）</p> <p>【香川の状況】 ・平成30年度中の供用開始を目指し、保健所設置市である高松市とともに平成28年3月、整備基本計画を公表。</p>				前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）	
他県の状況							
関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 動物愛護管理業務委託事業 （役割分担） センター整備により、動物の収容施設が集約化され、全県域委託時の経費削減（10,000千円/年）が可能となる。 （H22～）奥越丹南地区委託：18,500千円/年、（H27～）奥越丹南地区＋福井坂井地区委託：38,282千円/年		市町との連携状況		動物愛護管理法により、市町には動物の愛護および適正な飼養に関する普及啓発の努力義務がある。 福井市が中核市となった場合、県と同様に犬猫の引取り、返還、譲渡等の業務を自ら実施することになる。	
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
基本計画を基に土地購入・調査、造成設計および施設設計等を実施（造成・接道・水道工事を前倒して実施）		設計に基づき建築工事等を実施		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	